

修学旅行の心得

一生の中でも最も感動に満ちた中学生時代の、最も思い出深い経験が修学旅行です。それに参加する一人一人が、このしおりに書かれてある事柄をよく守り、有意義な修学旅行にしたいものです。

東谷山中学校の生徒としての、誇りと自覚をもって行動しよう。

1 出発までの準備と心得

- 服装について
 - 制服(夏服), 学校指定白靴, 白靴下とする。「東谷山中の望ましい服装・身なり」に準ずる。
 - 制服にはネーム, 組章を必ずつける。着替えの制服にもつけておく。
 - ホテル内の服装や寝巻きは, 体育服又は体育ジャージを原則とする。白のTシャツ(ワンポイント程度はよい)も認める。
- 携行品について
 - 携行品は次の通りである。

旅行のしおり, 自主研修ファイル, 筆記用具, 寝巻きとして体育服・体育ジャージまたは白のTシャツ(ワンポイント可), 下着・靴下などの着替え, ハンカチ, 洗面用具, 薬(持病, 車酔いなどのための各自必要なもの), 雨具, おやつ(1000円程度), 水筒(中身はお茶), 軍手と体育ジャージ上下(クラス別研修Aコースの生徒のみ), 学校指定補助バッグ(車内持ち込み用または自主研修用として)

- 持ち物にはすべて記名する。
- カメラや時計は持ってきてよいが, 各自の責任で管理する。
- ふだん学校に持ってきていけないものは持ってこない。ただし, トランプ等ホテルにおいてみんなで遊ぶものは認める。
- クラス別研修Aコースに参加する生徒は, アイススケートの決まりにより, 軍手, 体育ジャージ上下を忘れないようにする。また, 体育ジャージがぬれた時の寝巻きとして, 自分のジャージを持ってきてよい。
- 自主研修等において, 日差しが強いことも考えられるので, 学校指定の帽子か, 部活で使用している帽子を持ってきてよい。
- 小遣い
 - 一万円程度を目安に, 保護者と話し合っ決めて。多額の小遣いは必要ない。
 - 盗難や紛失がないように工夫する。事前に予算を立てて, 目的別に分けておいてもよい。
- その他
 - しおりの定めてある場所に, 必ず緊急連絡先などを記入し, 保険証の記号番号をひかえておく。
 - 面会を希望する場合は, しおりに定めてある面会申込書に記入し, 学級担任から前日までに許可を得ること。

2 旅行中の注意事項

- 出発の朝
 - 朝食は必ず食べる。乗り物に酔いやすい人は、消化の悪い食べ物をとらないようにし、酔い止めの薬の用法に従い適切な時刻に薬を服用する。
 - 遅刻をしない。午前6時15分に集合完了、6時30分から出発式を始める。
 - 事故や病気で急に参加できなくなったら、必ず連絡をする。

東谷山中学校 099-268-1271

- バス利用の心得
 - 集合や乗車は時刻を守り、機敏に行動する。
 - 乗車したら座席表に従い着席し、総務・副総務が人員の点検を行い、担任の先生に連絡する。
 - 車内は清潔にし、散らさない。また、窓から物を投げたり手や顔を出したりしない。
 - 車内での飲食は許可された時間帯以外は禁止する。
 - 必要以上に大声を出したり、他人に迷惑のかかる行動をとったりしない。また、バスガイドや先生の説明や注意をよく聞くようにする。
- 見学についての心得
 - 必ずクラスの友達などと行動し、単独で行動しない。
 - 勝手な行動はしない。トイレなどで集団から離れる場合は許可をもらう。
 - 他の見学者の迷惑にならないように、マナーをしっかりと守って行動する。文化施設、陳列品、樹木等に落書きしたり、いたずらしたりしない
 - 許可された場所以外での買い物はしない。
- ホテルでの心得
 - ホテルでは元気な声であいさつする。
 - 各係は自覚をもち、指示のあったことは必ず同室の生徒に連絡する。
 - 部屋に入ったら、荷物の整理をし、体育服またはジャージに着替え、各係会の報告を部屋で待つ。
 - ホテルの施設・設備は大切に扱うこと。
 - 窓から身を乗りだしたり、ベランダに出たりしない。窓から外へ物やちりなどを投げ捨てない。
 - 自動販売機も含め、ホテル内での買い物はしない。ホテルから家庭等への電話はかけない。
 - 部屋の鍵は、食事や入浴などで全員が一斉に出かけるときのみにかけるようにする。部屋に誰かいる場合は、就寝時間も含め、部屋の鍵はかけないようにする。
 - 就寝準備から後の時間は、絶対に部屋から出ず、自分の部屋で静かに過ごす。
 - ホテルを出発する際は部屋の掃除や整理をし、忘れ物をなくし、美化係が最後に確認する。